

統計とっとり

平成26年3月
第103号
鳥取県地域振興部統計課
TEL 0857-26-7665
FAX 0857-23-5033

統計課ホームページアドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/toukei>

平成24年就業構造基本調査の結果から

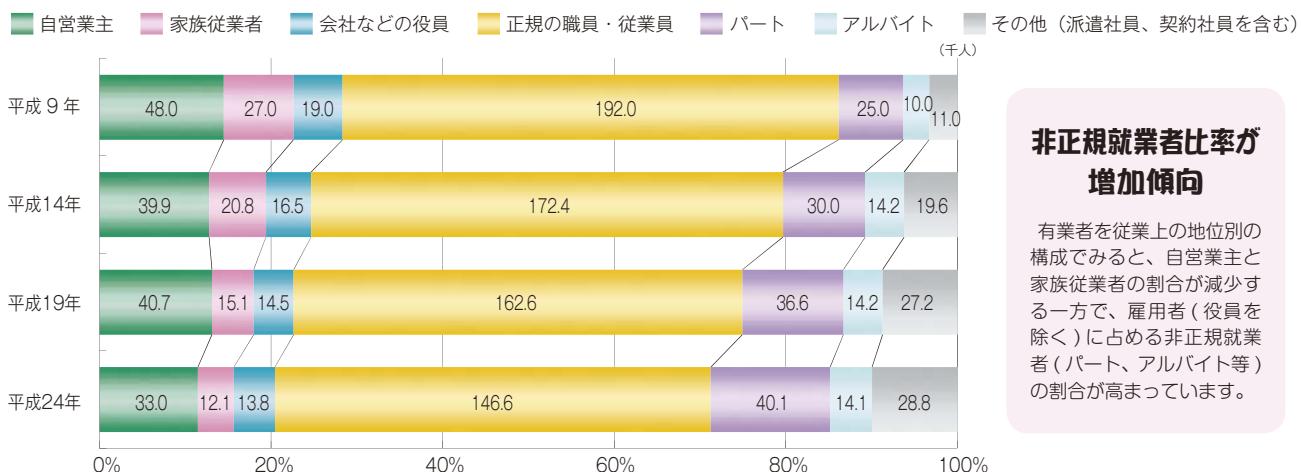
～15歳以上人口の就業状態～

就業構造基本調査は、国民の就業・不就業の実態を種々の観点から捉え、就業構造を詳細に明らかにすることを目的としています。昭和31年の第1回調査以来ほぼ3年ごとに、昭和57年以降は5年ごとに実施されており、平成24年調査で16回目となりました。

全国の世帯から無作為に選定した約47万世帯、鳥取県では約7,890世帯を対象に平成24年10月1日現在で実施されました。



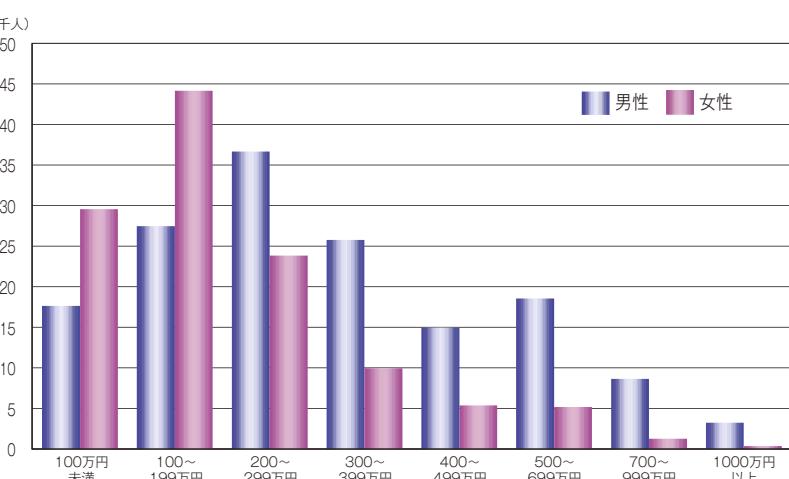
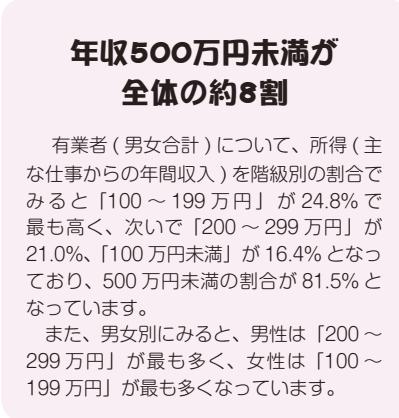
<従業上の地位、雇用形態別有業者数及び構成比>



非正規就業者比率が増加傾向

有業者を従業上の地位別に構成でみると、自営業主と家族従業者の割合が減少する一方で、雇用者（役員を除く）に占める非正規就業者（パート、アルバイト等）の割合が高まっています。

<男女別、所得階級別有業者数>





平成24年経済センサス-活動調査の結果から

経済センサス-活動調査は、我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を明らかにすることを目的に、初めて実施されました。調査結果の一部を紹介します。

<民営事業所数と従業者数の推移>



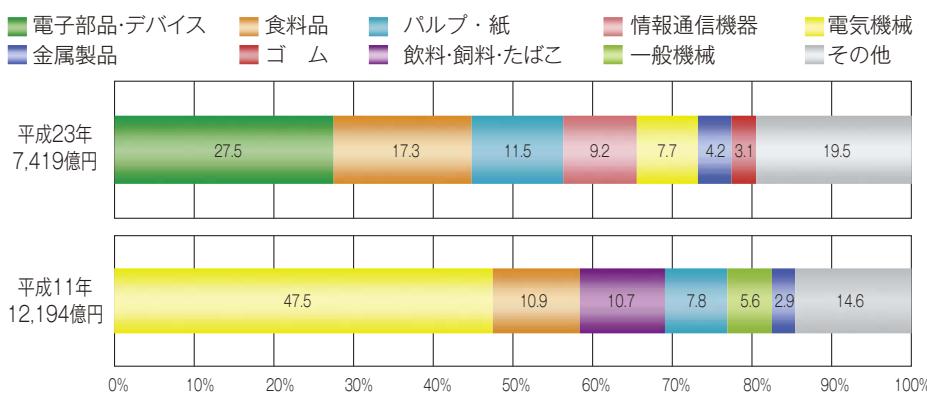
平成24年2月1日現在の民営事業所数は26,227事業所で、平成21年と比べ6.2%の減となりました。昭和61年の33,283事業所をピークに年々減少傾向にあります。

従業者数は226,944人で、平成21年と比べ5.3%の減となりました。

※平成24年は「経済センサス-活動調査」、平成21年は「経済センサス-基礎調査」、平成18年以前は「事業所・企業統計調査」の結果。

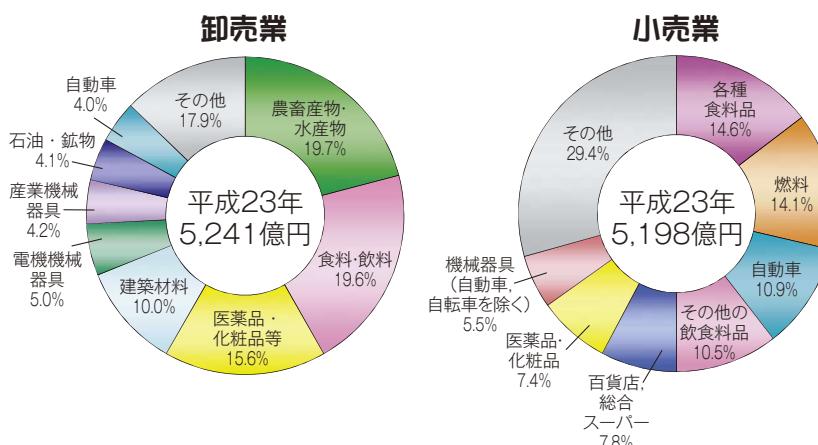
※事業内容等不詳を除く。

<製造業における産業別製造品出荷額等の構成比>



産業別製造品出荷額等の構成比は、大きい順に「電子部品・デバイス」「食料品」「パルプ・紙」となっています。製造品出荷額等が最大であった平成11年(工業統計調査)と比較すると、全体の約1/2を占めていた「電気機械」の割合が大きく減少し、「電子部品・デバイス」「情報通信機器」など産業構造に大きな変化が見られます。

<卸売業・小売業における業種別年間商品販売額の構成比>



卸売業・小売業の詳細な調査は平成19年商業統計調査以来となりました。

業種別年間商品販売額の構成比を見ると、卸売業は大きい順に「農畜産物・水産物」「食料・飲料」「医薬品・化粧品等」となっています。小売業は「各種食料品」の占める割合が最も高く、次に「燃料」「自動車」の順になっています。

労働力調査通信「都道府県だより」から

総務省統計局が労働力調査に携わる統計調査員に向けて四半期ごとに発行している「労働力調査通信」に、米子市の遠藤和子調査員と田中和恵指導員が寄稿された「都道府県だより」が掲載されましたので、ご紹介させていただきます。

新しい発見と達成感を求めて

調査員 遠 藤 和 子



労働力調査の調査員として統計調査の仕事に携わるようになっていつしか9年目を迎えました。

これまで続けてこられたのは、調査員同士の繋がり、指導員の方のご助言、そして家族の協力があったからだと思います。また、調査世帯の方との出会いに新しい発見があり、コミュニケーションがうまくいったときの達成感に生き甲斐を感じられたことも、続けることができた理由です。

調査世帯を初めて訪問する際に、私が心がけていることは、服装、訪問日時に気を配るのはもちろんですが、「少しお時間をいただいてよろしいですか」と、相手の都合を必ず聞くようにしています。

世帯訪問すると、しばしば「どうして私が選ばれたの?」「労働力調査ってどんな調査?」「高齢者で仕事をしていないのに協力するの?」など質問をいただきますが、労働力調査の趣旨を正確に説明して協力していただくようにしています。

近年、オートロックマンションの増加により、訪問しても連絡メモを通しての一方通行で、面接すらできない世帯が多くなり、また、調査員を偽って個人情報を集める事態の発生で、ますます調査環境が悪化しています。このような状況においても、調査員を信頼して気持ちよく調査にご協力くださる皆様には感謝の気持ちで一杯になり、本当に励みになります。

労働力調査で収集した情報が国の施策に有効にいかされることを願いながら、これからも統計調査員としての責務を自覚し、頑張っていこうと思っています。

調査環境が厳しさを増す中

指導員 田 中 和 恵



鳥取県は、全国で一番人口が少ない県ですが、ズワイガニ、ブリ類は全国有数の漁獲量を誇り、すいか、梨の名産地でもある「海の幸、山の幸」に恵まれた県です。

私は今年度から、初めて労働力調査の指導員となりました。指導員として調査に関わりながら、調査員の方と連絡を取り合ったり、調査票を審査するたび、何よりも痛感したのは、労働力調査の知名度の低さや、調査世帯のプライバシー保護に対する意識の高まりです。

そのような中、今年8月に開催した調査員合同指導会では、「伝わる話し方」という演題で講師による講演を実施したところ、世帯との対話が難しい事例に調査員の皆様が共感して頷かれる様子から、現場での御苦労が伝わってきました。

実際に私も、調査世帯の方からの問い合わせや調査拒否のお電話をいただき、丁寧な説明を心がけて対応しても、なかなか話を聞いていただけなくて気持ちが落ち込んだことがあります。

それからは、調査員の皆様とお話をする際にはお話をしっかりと聞くことで、抱えておられる問題点を把握し、モチベーションを少しでも高めていただけるような一言を伝える事ができればと努めています。

調査環境が厳しさを増す中、日々御尽力いただいている調査員の皆様の円滑な調査活動のために、指導員として何が出来るか考えながら努力を重ね、ともに調査を進めてまいりたいと思っています。

平成25年度登録調査員研修会の紹介

県登録調査員研修会を開催しました

県主催の登録調査員研修は、すべての登録調査員を対象に、登録調査員の資質の向上を目的として平成24年度から実施をはじめました。調査員の心得や紛失・事故事例などの基礎的な内容で実施した昨年度に続き、2回目となる今年度は、講師に民間企業の人事育成担当者を招き、経験談を交えてお話をいただきました。東部会場で62名、中部会場で21名、西部会場で44名というたくさんの方々が参加され、好評を得ました。

開催日

東部会場(県庁) 9月 9日(月)
中部会場(県中部総合事務所) 9月13日(金)
西部会場(県西部総合事務所) 9月17日(火)

東部会場で講義される八木講師



内 容

1. 講義「お客様の心をつかむ訪問面談アプローチ」

講師：日本生命保険相互会社 鳥取支社 人材育成部長 八木 浩介 氏
法人職域営業マネージャー 益田 和義 氏

東・中部会場には八木氏を、西部会場には益田氏を講師としてお招きし、保険商品を扱う訪問スキルの枠を超え、調査活動時の応答事例を独自の視点で解説いただきました。

講師からは、実際の調査活動でも参考となる事柄について紹介がありました。

- 第一印象を決定づける要素：メラビアンの法則（視覚 55%、聴覚：話し方 38%、言葉・内容 7%）
- 「自分のためのおしゃれ」と「相手のための身だしなみ」の違いを理解し、お客様に快く感じていただく身だしなみを心がける。
- 訪問時のマナーとして 10 分前行動をする。
- 「何時頃」ではなく「何時何分」という約束時間のとり方をする。
- 約束時間より早く到着した際は、その時間まで待機する（早すぎてもダメ！）。
- 終わりの時間も守りたい。「あと〇分ほどよろしいでしょうか？」
- 専門用語を使わない。



西部会場で講義される益田講師



講義に聞き入る中部会場の参加者

また、ケーススタディーワークとして、調査対象者からの「お断り」や「質問」、「個人情報なので、回答したくない」「なぜこんな調査が必要なの？」など様々なケースを想定し、対応方法について参加者に意見を求めながら、具体的に解説いただきました。

今回の講義は、訪問マナーの基本事項を改めて確認し、調査協力がなかなか得られない場面での対応方法を知る貴重な機会となりました。

～ポイント～ お客様訪問のマナー

あいさつのポイント

- ①明るく笑顔で
- ②自分から先に
- ③相手の目を見て
- ④おじぎもしっかりと

話し方のポイント

- ①相手の目を見て
- ②声の大きさを調整
- ③口調の速さに注意
- ④相手の状況に配慮
- ⑤わかりやすく話す
- ⑥相手の態度・反応・表情に配慮

Q 統計調査の「必要性」をどう理解していただくか??

男性には 筋道立てて訴える!

『理性型』

女性には 視覚に訴える!

『感性型』

2. 講義「統計調査員の安全確保対策と個人情報保護」

講師：県担当職員



安全確保対策…

事故は常に身近であることを認識し、自分の身の安全は自分で守るという自覚を持つことが重要。

個人情報保護…

調査員は公務員としての自覚を持ち、守秘義務の重要性及び調査関係書類の管理には細心の注意を払う。

基本的な事柄ですが、調査員としての心構えを改めて考える機会となったようです。



講義の様子

第63回全国統計大会に参加しました

全国統計大会は、10月18日「統計の日」の関連行事の一つとして、国、地方公共団体、関係団体等の統計関係者が一堂に会し、開催されています。

今年度は、毎年実施されていた総務省主催の登録調査員中央研修が中止されたため、本県からは鳥取市の戸田勝也調査員と浜口英子調査員、大山町の徳永健調査員の3名、鳥取県統計調査員会からは中山由美子調査員、牧田純江調査員の2名に参加いただきました。

- （主 催） 総務省、公益財団法人統計情報研究開発センター
（開催日） 11月13日(水)
（会 場） 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）
（内 容）
○各種表彰 ・「統計調査功績者」各省大臣表彰
・第61回統計グラフ全国コンクール入賞者表彰
・平成25年度「統計の日」標語入賞者表彰
○大内賞授与
○第34回統計シンポジウム



〔左から〕戸田調査員 中山調査員 浜口調査員 牧田調査員 徳永調査員

◆シンポジウム テーマ「調査拒否に対して今後どのように向き合っていくべきか」

近年、個人情報保護意識や企業の情報管理意識の高まりに伴い、統計調査への協力が得られにくくなっています。これが統計精度や調査の円滑な実施を行う上で問題となっています。協力が得られなかった事例における、拒否する側と調査する側双方の主張を踏まえ、調査拒否に対し今後どのように向き合っていくべきか、各分野のパネリストによるディスカッションが行われました。

◆パネラーの発言要旨

- ・日本は統計教育が遅れており、今後学校教育の中で統計の重要性を理解させることが調査協力へつながる。
- ・ITシステムを利用することが効果的。
- ・それぞれの調査票がどこで活用されているかリアルタイムで確認できるよう管理することが重要。
- ・インターネットはデメリットもあるので、不適切な情報が出回らないよう、誤った書き込みはすみやかな削除が必要。
- ・国の統計に関わる機関が、様々な相談事例への対処方法をとりまとめるべき。

参加された方に感想を伺いました。

- ・特に気になった事は、統計教育の必要性です。小さい頃から授業に取り入れることにより、統計の必要性が身につくということを、海外の事例を取り入れながら話されていたのが印象的でした。
- ・今回のテーマは調査員にとって永遠のテーマです。年々調査は行い辛くなり、拒否も増えてくると思います。小さな統計調査でも、大規模な広報展開を行ってほしいものです。
- ・旧統計法時代で、農林水産統計の拒否に対し罰則が適用されたことを初めて知りました。
- ・国の統計調査には罰則があることを広く国民が知っておくことは大切だと思います。「申告の義務」を文字に起こすことにより、調査対象者が知り、調査協力していただきやすい環境が作られると思います。

平成26年度は中央研修開催予定です

栄誉に輝く

2名の調査員に栄典が授与されました

平成25年春 藍綬褒章

由谷 節子調査員（鳥取市）



春の褒章に際し、藍綬褒章授受の栄に浴しました。皇居に参内し豊明殿において天皇陛下に拝謁の栄誉とともにお言葉まで賜り感慨深いものがありました。これも一重に支えて下さった県の職員の方々のご指導、早く調査に協力して下さった世帯の方々、一緒に労してきた調査員の方々との繋がりがあっての事と、深く感謝致しております。

家計調査は世帯との接触が長く、根気・忍耐がいる大変な仕事だと思います。私が調査に携わっていく中で心掛けている事は、「守る…約束、期限を守る。秘密の厳守。身を守る。」と「逃げない…困っても行き詰まつても逃げない。」です。そんな中で世帯との信頼関係も生まれ、こんなに調査員を長く続けることができました。

今後はこの栄誉に恥じないよう一層精進し、少しでも社会のお役に立てるよう頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

平成25年秋 瑞宝単光章

山岡 福美子調査員（米子市）



この度、秋の叙勲に際し瑞宝単光章という私にとっては身に余る栄誉をいただき誠にありがとうございました。長く携わるにしたがって、世の中は目まぐるしく変化してまいりました。今日では、個人情報の漏洩の心配、オートロックマンションの方との面接の困難等、対象者の方に信頼を得るには、充分な調査の説明が大切と感じています。今日まで継続できましたのは、早く御協力頂いた事業所、世帯の皆様をはじめ、御指導頂いた県市の担当職員の皆様、そして調査員の良き仲間の皆様のお陰だと心より感謝申し上げます。

今後も統計調査を通じて、社会に貢献できるよう頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。

平成25年度統計功労者表彰式・統計セミナー

11月8日(金)米子市文化ホールにおいて開催し、約70名の方に参加いただきました。

統計功労者表彰式

表彰式では、統計に功績のあった調査員や事業所に対し、各省大臣表彰、鳥取県知事表彰が行われました。各省大臣表彰は、総務省政策統括官付 統計審査官付 金子調査官より、鳥取県知事表彰は杉本統計課長より伝達されました。



表彰状の授与



塚田調査員による謝辞



受賞者席

受賞者を代表して、経済産業大臣表彰受賞者 塚田美登里調査員より「自分にできるかしらと不安に思うこともありました。が、私一人ではない、沢山の調査員の方が頑張っていると思い直し、地域の皆様に協力していただきここまで続けることができました。統計調査で集めた資料が私達の日々の生活に活かされる事を信じています。」と謝辞が述べられました。

また、藍綬褒章を受けられた由谷節子調査員と瑞宝単光章を受けられた山岡福美子調査員から慶びの言葉をいただきました。

統計セミナー

表彰式に引き続き、「統計調査におけるオンライン調査の推進について」と題して、金子様からオンライン調査の仕組み及び導入のメリット・デメリット等、他国の状況も交えて、今後のオンライン調査推進についてお話をいただきました。



講演される金子調査官



セミナーを受けられる様子

受賞の皆様おめでとうございます

総務大臣表彰

労働力調査

調査員 大原 孝子（智頭町）

小売物価統計調査

調査員 金子 あゆみ（鳥取市）

平成24年就業構造基本調査

調査員 山口 初江（倉吉市）

各種統計調査

調査員 福本 牧子（米子市）

調査員 林 美幸（智頭町）

経済産業大臣表彰

構造統計

調査員 清水 光代（北栄町）

調査員 塚田 美登里（日吉津村）

経済産業省感謝状

経済産業省所管統計調査

調査員 柏木 由美子（鳥取市）

調査員 植田 登美子（倉吉市）

調査員 藤本 和子（琴浦町）

鳥取県知事表彰

鳥取県鉱工業生産動態調査

事業所 鳥取県生産コンク（鳥取市）
リート工業組合

事業所 株式会社テクノメタル（三朝町）

永年従事調査員

調査員 太田 容子（鳥取市）

調査員 深田 雅子（鳥取市）

調査員 坂田 千恵子（米子市）

調査員 三柳 二朗（米子市）

調査員 松井 正枝（湯梨浜町）

（敬称略、順不同）

厚生労働大臣表彰

労働統計関係

事業所 ダイヤモンド電機（鳥取市）
株式会社鳥取工場

事業所 千代電子システム株式会社（鳥取市）

事業所 株式会社エースパック（倉吉市）

事業所 有限会社三共鉄工所（境港市）

調査員 手嶋 朱美（倉吉市）

平成26年度に実施される
統計調査(調査員調査)の一覧

調査名・調査基準日	市町村委託分						県直接調査分													
	第平3次試験調査	調査	経済センサス基礎	商業統計調査	全国消費実態調査	農林業センサス	工業統計調査	(動向編)	小売物価統計調査	(構造編)	小売物価統計調査	家計調査	労働力調査	個人企業経済調査	(毎月勤労統計調査)	(第二種)	毎月勤労統計調査	(特別調査)	商業動態統計調査	鉱工業生産動態調査
	6/19	7/1 (同時実施)	9月 ~11月	2/1	12/31	毎月	隔月	毎月	毎月	毎月	毎月	毎月	毎月	毎月	毎月	毎月	毎月	毎月	毎月	
市町村																				
鳥取市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
米子市		○	○	○	○	○			○			○		○	○	○	○	○	○	
倉吉市		○	○	○	○	○						○		○	○	○	○	○	○	
境港市		○	○	○	○	○				○	○		○		○	○	○	○	○	
岩美町		○	○	○	○	○	○	○				○		○	○					
若桜町		○	○	○	○	○						○								
智頭町		○	○			○	○					○				○				
八頭町		○	○	○	○	○									○					
三朝町		○	○	○	○	○						○			○	○				
湯梨浜町		○	○	○	○	○						○				○				
琴浦町		○	○	○	○	○						○			○	○				
北栄町		○	○			○	○					○			○	○				
日吉津村		○	○	○	○	○														
大山町		○	○			○	○						○		○					
南部町		○	○			○	○									○				
伯耆町		○	○			○	○						○		○					
日南町		○	○	○	○	○	○					○			○					
日野町		○	○	○	○	○	○													
江府町		○	○			○	○													

注: ○印は対象市町村を示す。

平成26年度は、多くの周期調査が実施される予定になっています。年間を通して経常的に行われるもの、毎年実施されるものも含め、複数の統計調査が輻輳しますが、統計調査員の皆様のご協力をよろしくお願いします。

平成26年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
経済サンセス基礎調査 商業統計調査											
農林業サンセス											
今回、 この2調査は 同時実施 されます!											
全国消費実態調査											
毎月勤労統計調査 特別調査											
工業統計調査											
国勢調査 第3次試験調査											
											
※この表は周期調査及び毎年調査の調査員任命期間の目安を示したものです											